

2015

# ベーゼンドルファー・ピアノサイタル

## 88の魔法ピアノ300年物語

### 仲道祐子の語りと音楽で楽しむピアノの物語



Photo : 武藤 章

300年徐々に発展してきたピアノ。  
最初は88ではなかった鍵盤の数。  
ペダルの発明によって・・・などピアノの歴史を  
おりませながら名曲と共につづる  
”ピアノなるほど物語”。

10/16(金)

19:00開演(18:30開場)

【チケット料金】 全席自由

前売 ¥1,000円

当日 ¥1,200円

※小学生は、保護者同伴になります。

※未就学児の入場はできません。

【チケット発売日】 平成27年9月8日(火)

【チケット取扱い】 さくらんど会館、総合会館

(土・日・祝日を除く 8:30~17:00)

※電話予約は、生涯学習課村松事務所(さくらんど会館内)

0250(58)1133 (受付時間9:00~19:00)

【会場】 五泉市さくらんど会館イベントホール 五泉市村松乙118-2

【主催】 五泉市教育委員会

【問合せ】 五泉市生涯学習課村松事務所(さくらんど会館内) 0250(58)1133 (8:30~17:15)

「仲道祐子のお話とともに実際の楽曲を通じてピアノの発展を、ご自身の耳でお確かめ下さい。」

西暦1709年、イタリアの楽器製作者バルトロメオ・クリストフォリは、現代ピアノの特性を決定づけるハンマーで弦を叩くという機構を発明しました。それから300年余り。

珠玉のピアノ名曲コンサートとしての側面に加え、ピアノの歴史や構造、さらには曲に対しての想いや演奏家の日常についてなど興味深いトークも交え、どなたにも解りやすくお届けします。皆さんの身近にあるピアノについてのストーリーを、第一線で活躍するピアニスト自身が語りながらお贈りする名曲の数々。クラシックファンやピアノ学習者の方々のみならず、皆様にお楽しみいただけます。

## ～プログラム～

モーツァルト：きらきら星変奏曲

モーツァルト：バターつきパン

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ「月光」

ショパン：「雨だれ」

ショパン：「小犬のワルツ」

リスト：愛の夢 第3番

リスト：3つの演奏会用練習曲より 第3番「溜め息」

シューマン：子供の情景 Op.15

ドビュッシー：喜びの島

ラヴェル：フォーレの名による子守唄

ラヴェル：組曲「クープランの墓」より 第6曲 トッカータ

ショパン：スケルツォ 第2番

曲目・曲順が変更になる場合がございます。

## ～プロフィール～

### 仲道 祐子 Yuko Nakamichi (Piano)

心に染み入る情感豊かな音楽性と暖かい音色を持ち味とし、聴衆に愛されるピアニスト。

金原美津子、安倍紀子、故中島和彦の各氏に師事。アメリカにてシルヴィア・ミュering氏に師事。

桐朋女子高等学校音楽科に進み、卒業後渡独、クラウス・シルデ氏に師事。ミュンヘン国立音楽大学、同大学院ピアノ科及び室内楽科を卒業。ドイツを拠点にソロ活動を行う。

コンクールでは、第36回全日本学生音楽コンクールピアノ部門中学校の部全国第1位。アドルフォ・L・アブレダ国際ピアノコンクール最高位第2位。第37回マリア・カナルス国際音楽コンクールピアノ部門第2位及び特別賞。第10回ロベール・カサドシュ国際ピアノコンクール第3位。

1996年5月、紀尾井ホールでのデビュー・リサイタルで、日本での本格的ソロ活動を始める。現在は、各地でのリサイタルの他、国内の主要オーケストラと共演し、室内楽の分野でも活躍している。

2006年より、朗読劇「月光の夏(劇団東演との共同制作プロジェクト)」にピアニストとして毎年出演するなど、平和について考えるコンサートや社会的意義のあるコンサートにも意欲的に参加している。更に、音楽教育の普及に深い関心を示し、子供達と音楽の楽しさやピアノの楽しさを分かち合うコンサートや、朗読とのコラボレーションなどの多彩なコンサート活動にも力を注いでいる。ピアノの歴史300年をピアノ曲とお話でたどるコンサートも好評を得ている。

CDは、ピクチャーエンタテインメントより「センブリーチェ」、「モーツァルト／トルコ行進曲」、オール・ベートーヴェンの「ムーンライト・ソナタ」、アメリカン・レパートリーの「誰かが私を愛してる」、仲道郁代との2台ピアノ「愛の挨拶」、ピアノ小品集「ピアノ愛奏曲集」の6枚をリリースしている。大阪芸術大学演奏学科教授。